

令和5年ホヤ類調査結果速報 No. 5

令和5年11月17日

北海道立総合研究機構函館水産試験場

※この速報は函館水試HPでも見ることができます。

【アドレス：<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/hakodate/>】

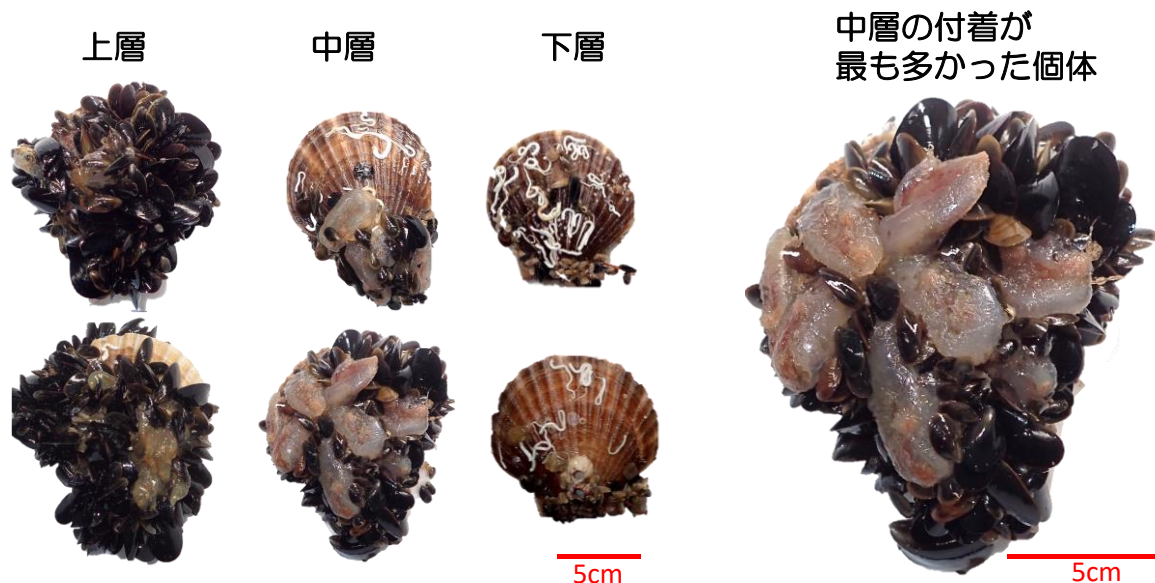
11月15日に渡島管内八雲地区において、耳吊ホタテガイ付着物の調査を行いました。

結果概要

※「平年」とは「過去10ヶ年平均」を表します。

- ・耳吊りホタテガイ上のヨーロッパザラボヤの付着個体数は前回から減少しました。
- ・ヨーロッパザラボヤの付着個体数および付着重量は、いずれも平年の1/10未満で過去最低でした。
- ・ヨーロッパザラボヤの平均体長は30.9mmで平年よりも3mm小さかったです。
- ・今年は付着が少ない年と考えられますが、耳吊り時期や場所により付着量が多い場所もあるかもしれません。付着が多い場合は、貝洗い等の対応を進めてください。

図1 ホタテガイに付着するヨーロッパザラボヤ 令和5年11月15日 八雲地区



問い合わせ先：函館水産試験場調査研究部 水上・夏池 TEL：0138-83-2893

※本調査および情報配信は特定非営利活動法人水産業・漁村活性化推進機構から委託された令和5年度有害生物（ザラボヤ）出現情報収集・解析及び情報提供事業で実施しています。

耳吊りホタテ貝付着物調査

【調査月日：11月15日、調査場所：八雲沖、採取数：上中下層 各5枚】

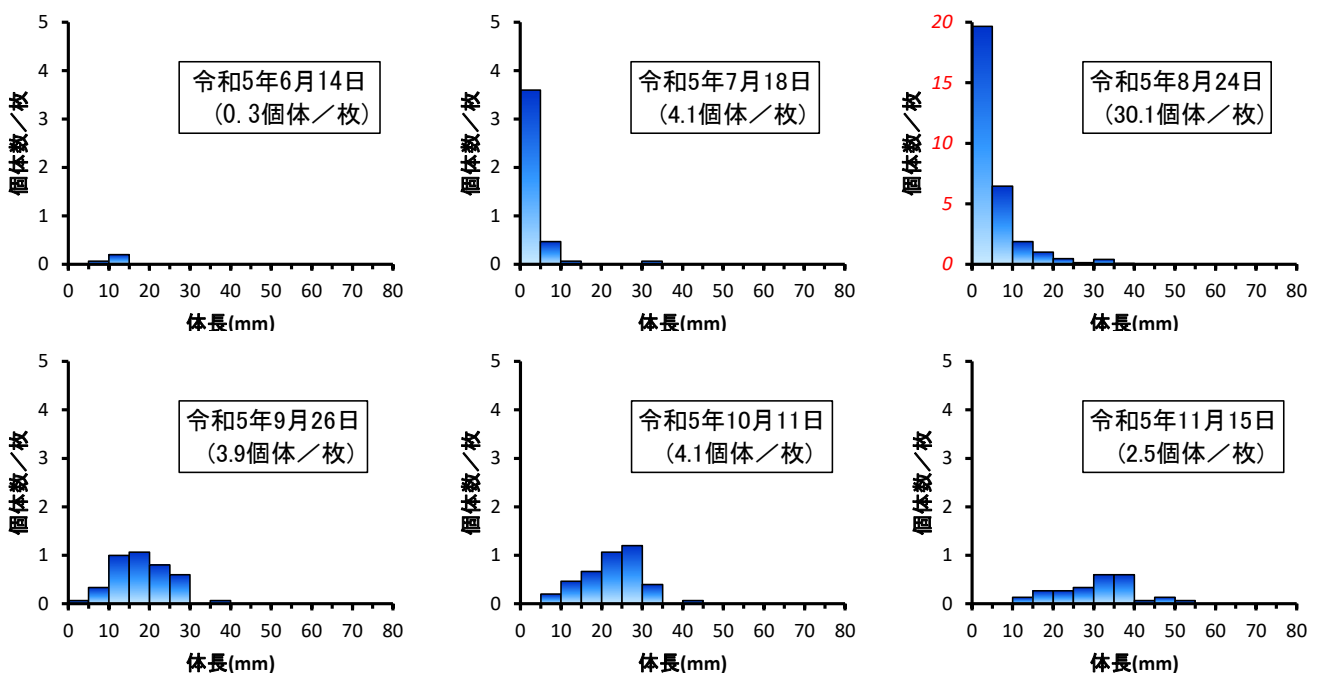
ホタテガイを上層、中層、下層から5枚ずつ抽出し、付着物を調査しました。ヨーロッパザラボヤの平均付着個体数は、ホタテガイ1枚あたり2.5個体（過去10ヶ年の平均28.1個体）、平均付着重量は同10.0g（同125.0g）でした。付着数は前回調査（4.1個体）から減少しました。また、平均サイズは30.9mm（過去10ヶ年の平均34.0mm）と平年よりも約3mm小さかったです（図2）。また、上層ほどイガイの付着が多い傾向でした（図1）。

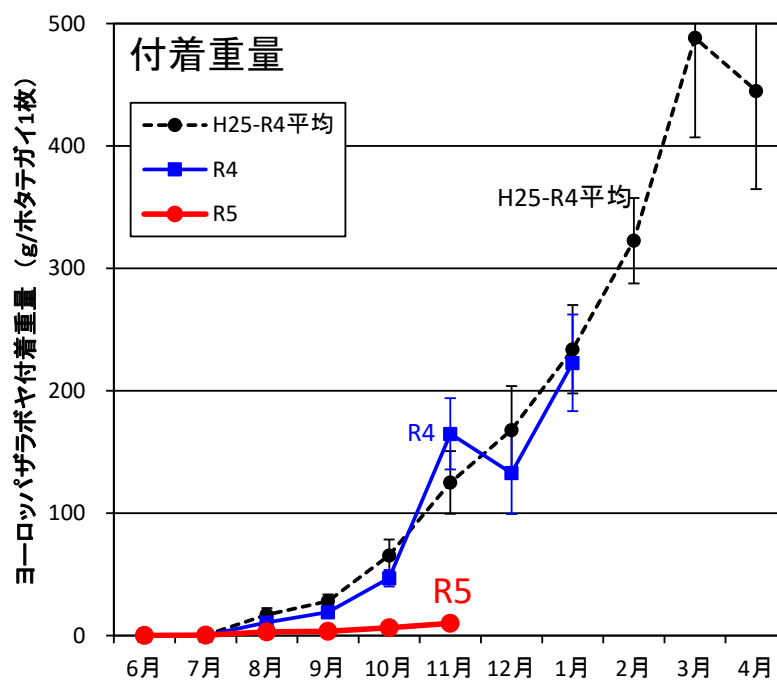
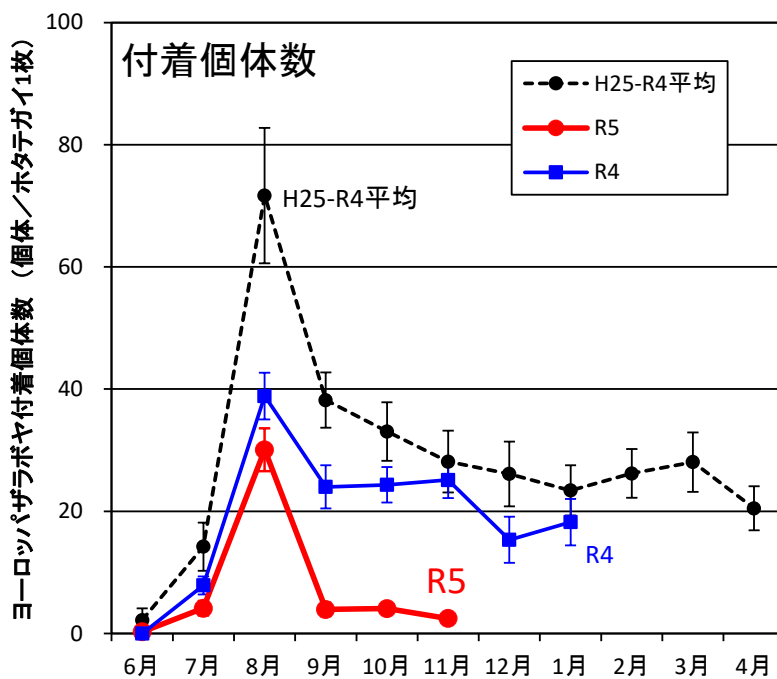
今年のヨーロッパザラボヤの付着数及び重量は前回と同様に過去10ヶ年平均の1/10未満と非常に少なく、増重ペースは例年よりもかなり緩やかになると考えられます（図3下）。しかし、場所によっては付着数が多いことも想定され、その場合はホタテガイの成育に悪影響を与えますので、付着状況を見て、貝洗い等の対応を進めてください。

表1 付着生物調査結果（八雲地区：令和5年11月15日）

ホタテガイ1枚あたり平均付着数量	上層	中層	下層	平均
全付着物重量	160.2g	109.8g	19.0g	96.3g
ヨーロッパザラボヤ	6.6g	23.1g	0.1g	10.0g
その他	153.5g	86.7g	18.9g	86.4g
ヨーロッパザラボヤ個体数	1.6個体	5.6個体	0.2個体	2.5個体
令和4年11月（R4.11.28）の個体数	14.6個体	34.6個体	26.2個体	25.1個体
令和3年11月（R3.11.17）の個体数	5.0個体	7.0個体	21.2個体	11.1個体
令和2年11月（R2.11.17）の個体数	7.8個体	13.4個体	7.8個体	9.7個体

図2 ヨーロッパザラボヤのサイズ組成（八雲地区：令和5年6～11月）





上：ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着個体数の季節変化
 下：ホタテガイ上のヨーロッパザラボヤ付着重量の季節変化
 各月のデータは全層（上層、中層、下層）の平均値で示しています（縦棒は標準誤差）。
 過去10ヶ年（H25～R4年）のデータでは、ヨーロッパザラボヤのホタテガイへの付着個体数は7～8月に大きく増加し、8～9月に大きく減少した後、10月以降は緩やかに減少します。付着重量は10月以降、急激に増加します。